

## 日本パイプシステム株式会社 行動計画

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和 05 年 10 月 01 日～令和 10 年 9 月 30 日までの 5 年間

2. 計画内容

### 目標 1：男性の育児休業取得者を 1 名以上出す

#### <対策>

|               |                                                  |
|---------------|--------------------------------------------------|
| 令和 06 年 12 月～ | 全体集会等で両立支援に関する情報を発信し、子の看護休暇を取得しやすい環境を醸成していく      |
| 令和 07 年 04 月～ | 相談窓口を周知させ、相談された従業員に対して給料の変化等シミュレーションができるツールを作成する |

### 目標 2：子育て行事に参加するために利用できる、休暇制度の設立を目指す

#### <対策>

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| 令和 05 年 10 月～ | 休暇制度の内容をまとめた案を作成し、事業主へ確認をとる |
| 令和 06 年 04 月～ | 規定等の見直しをする                  |
| 令和 07 年 01 月～ | 労働基準監督署に届出をする               |
| 令和 07 年 04 月～ | 施行する                        |

### 目標 3：年次有給休暇取得率 70%以上を維持する

|               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 令和 08 年 04 月～ | 3 か月ごとに安全衛生委員会で有給取得率を確認する |
|---------------|---------------------------|

### 目標 4：年間休日を 1 日以上増やし、年間所定労働時間を 0.389%以上削減する

|               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 令和 08 年 02 月～ | 2026 年度カレンダー作成時休みの日数を検討する |
| 令和 09 年 02 月～ | 2027 年度カレンダー作成時休みの日数を検討する |
| 令和 10 年 02 月～ | 2028 年度カレンダー作成時休みの日数を検討する |